

地下貯水槽（i～iii）観測孔における全β放射能濃度上昇について

2016年3月31日



地下貯水槽 i～iii 周辺の地下水モニタリングの状況

- 平成25年4月に地下貯水槽の漏洩が確認されたため、監視を継続。
 - 観測孔、及び海側観測孔における全β放射能濃度は検出限界値未満で推移※
 - （※検出限界値の設定等により一時的に検出されたことは有り）
- 平成28年3月1日のサンプリングにおいて、地下貯水槽No. i～iii 周囲の複数の観測孔で全β濃度を検出。
- 翌日より、観測孔、海側観測孔の採取頻度を増やしてモニタリング強化を開始。
- 現在、監視強化と併行して要因を調査中
 - 過去の漏洩による汚染の可能性
 - 地表面からの汚染流入の可能性
 - 周辺工事による影響、など



図 地下貯水槽No. i～iii の位置

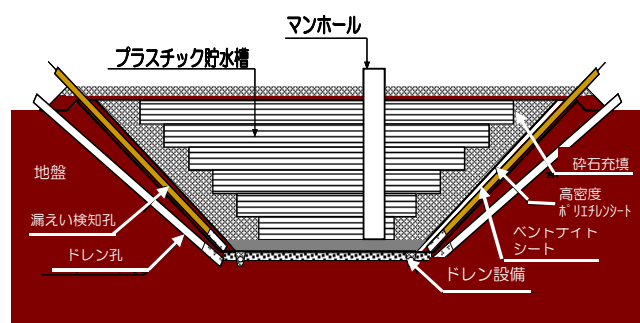


図 地下貯水槽の構造

地下貯水槽観測孔 分析結果（2016年3月1日分）

	地下貯水槽（i～iii）観測孔						
	A11	A12	A13	A14	A15	A16	A17
採取時刻	8:39	8:35	8:30	8:26	8:23	8:19	8:15
全ベータ(Bq/L)	89	32	43	69	46	100	200

※孔番号については、次ページ図参照

地下貯水槽 i ~ iii 周辺のモニタリングの状況 (観測孔)

- 3月1日の検出以降、監視を強化中。
- A-4のように若干高めめの観測孔もあるが、全体的に濃度は低下傾向

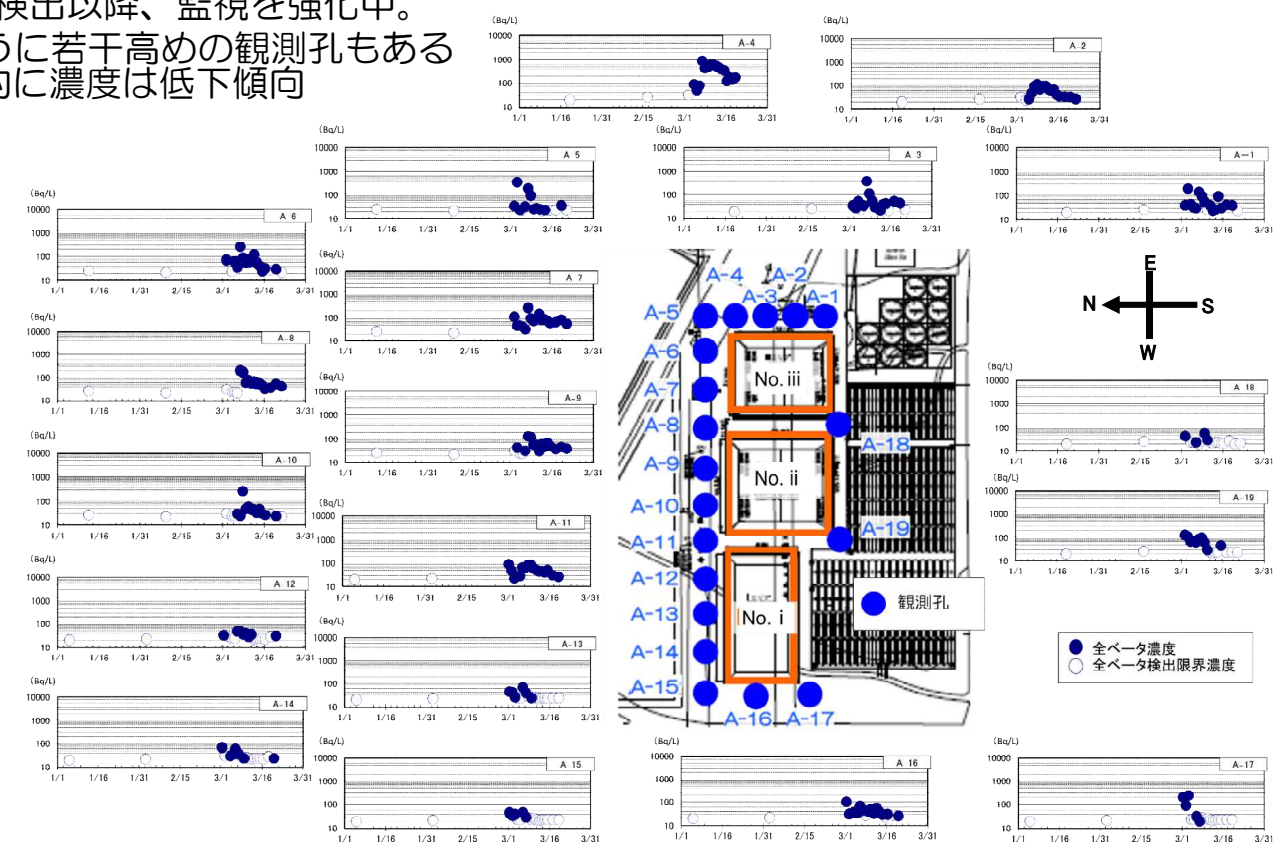
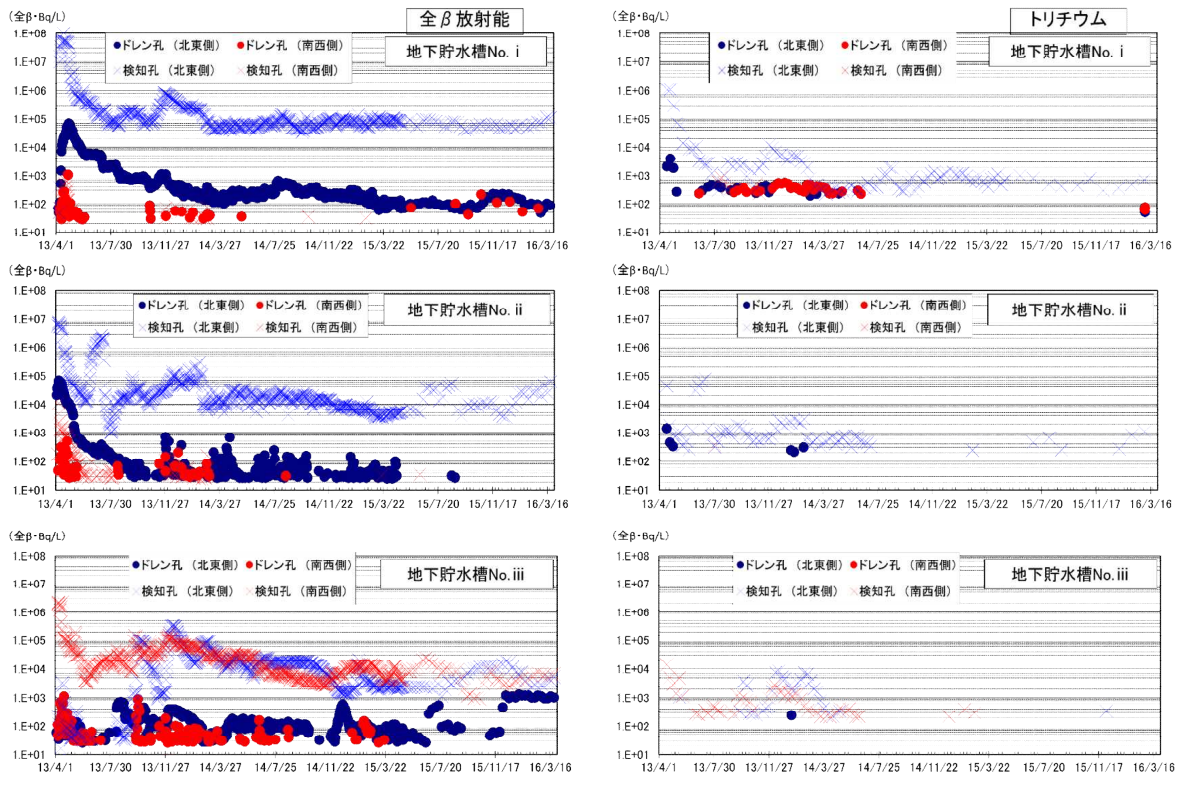


図 観測孔の全ベータ濃度 (2016年1月~)

地下貯水槽 i ~ iii 周辺のモニタリングの状況 (検知孔、ドレン孔)

- 地下貯水槽に設置されている検知孔、ドレン孔の濃度に変化は見られていない。



注 検出された場合のみプロット

図 地下貯水槽No. i ~ iii のドレン孔、検知孔の放射性物質濃度 (2013年4月~)

地下貯水槽 i ~ iii 周辺のモニタリングの状況 (海側観測孔)

- 地下貯水槽No. i ~ iii の東側に位置する海側観測孔では、地下貯水槽に近い②で全ベータ濃度が検出されたが、低濃度でありその後はまた不検出となっている。
- 引き続きモニタリングを継続する。

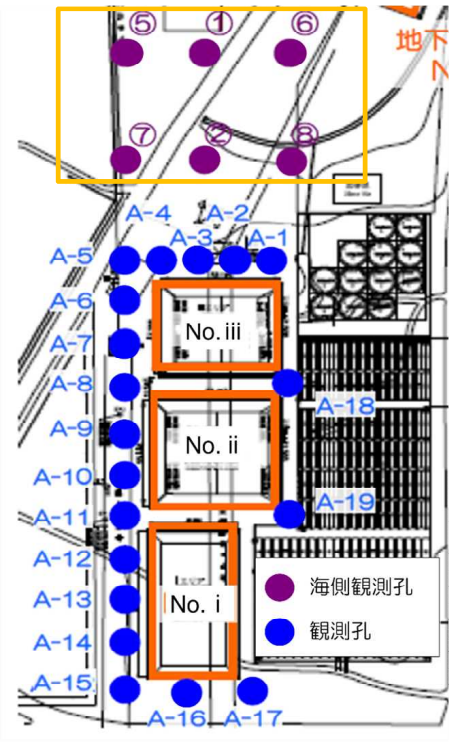
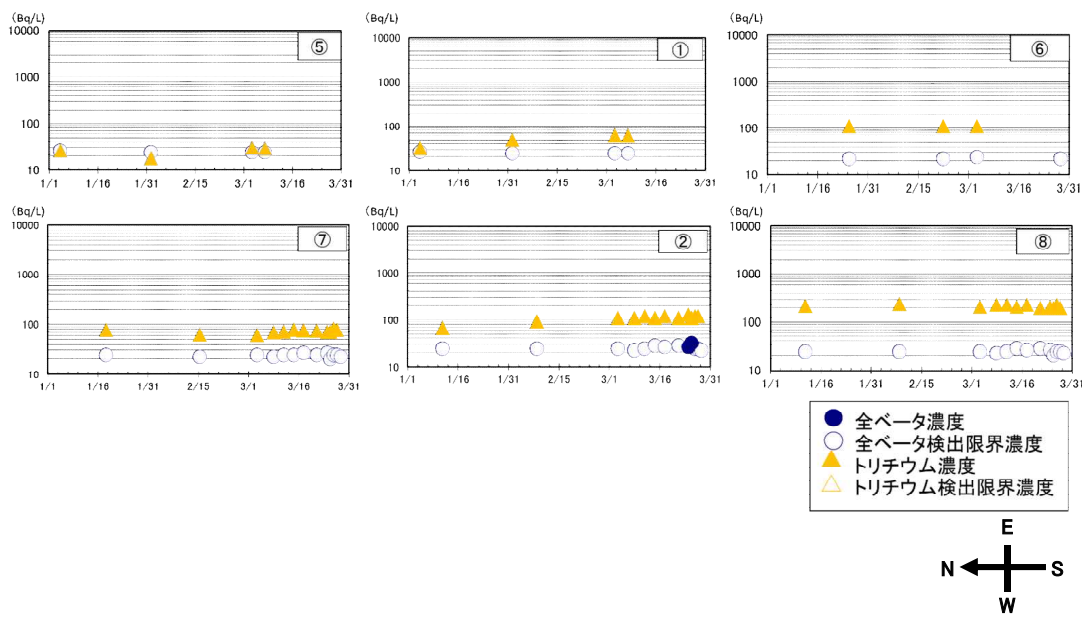


図 海側観測孔のモニタリング結果 (2016年1月1日～)